

令和2年11月17日(火)開催
(受付開始17:30)

参加費
無料

大阪府 × 大阪府立大学 共催セミナー

経済・社会を読み解くビッグデータ分析

◆ 18:00～18:15 「公的統計データ等の探し方」

RESAS(地域経済分析システム【内閣府】)、e-Stat(政府統計の相談窓口)を使った様々な公的統計データの入手、利用方法を大阪府統計課職員が紹介します。

◆ 18:20～20:00 「経済・社会を読み解くビッグデータ分析」

近年、ICTの進展により大量で多種多様なデータの生成・収集・分析が可能となったことで、いわゆるビッグデータの利用可能性が高まっています。

本セミナーでは、計量経済学(観測可能な経済データを経済理論に基づいて解釈し、統計的な方法によってその妥当性の実証分析を行う学問)の視点から、データ分析の目的と経済学・ビジネス分野におけるビッグデータの利用例を紹介します。



講師：鹿野 繁樹 氏

現代システム科学域 マネジメント学類 准教授

略歴

筑波大学大学院社会工学研究科(現 システム情報工学研究科)修了単位取得退学、博士(社会経済)。2004年から大阪府立大学 経済学部講師、2007年同学部准教授を経て、2012年から現職。

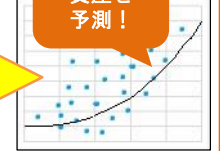
主な研究内容は、経済・ビジネスデータの新たな分析方法を開発し、効果的な利用法を提案する分野、「計量経済学」を専攻しています。具体的には、個人や企業組織の意思決定、あるいは市場取引の結果として観測されるデータ群から、エージェントの戦略を読み解いたり、選択から結果への因果関係を立証する方法を研究。

主な著書：『新しい計量経済学』(日本評論社)(単著)2015年。

携帯電話の通信データ



地域別の資産を予測!



検索広告の効果は…?

会場

大阪府立大学I-siteなんばC1、C2、C3教室
(南海なんば第1ビル2階)

定員

先着 50名

申込み

下記アドレスから申込フォームを開き、
必要事項を入力してください。
(電話・メールでの申込みはご遠慮ください)

<申込フォーム>

<https://www.shinsei.pref.osaka.lg.jp/ers/input?tetuId=2020100076>



※ 駐車場・駐輪場はありません。

- 南海電鉄「難波駅(中央出口)」より徒歩約12分
- Osaka Metro御堂筋線「なんば駅(5番出口)」より徒歩約15分
- Osaka Metro御堂筋線・四つ橋線「大国町駅(1号出口)」より徒歩約7分
- Osaka Metro堺筋線「恵美須町駅(1-B出口)」より徒歩約7分

お問い合わせ

大阪府総務部統計課情報企画グループ

電話：06-6210-9196

メール：tokei-g27@sbox.pref.osaka.lg.jp

